

<チュートリアル>

「安全性（毒性）評価支援システムおよびケモメトリックス研究支援システム」勉強会

★CBI 学会 2017 年大会への参加登録が必要です。

日時：2017 年 10 月 2 日（月） 12：45 -17：00

場所：タワーホール船堀 研修室

開催趣旨：化合物に関する殆ど総ての分野で「安全性（毒性）評価」の重要性が高まっており、インシリコ（コンピュータ）による「安全性（毒性）評価」の重要性が急速に高まっています。現在、インシリコによる様々な安全性（毒性）評価システムが開発され、日本でも販売／展開されています。これらのシステムを十分に活用し、その力を十分に発揮するには、システムの内容を十分に理解して利用する事が必要です。この問題を解決すべく、昨年の C B I 学会 2016 年大会で「安全性（毒性）評価支援システム」勉強会を開催し、多くの方々の参加を得ました。今年度も昨年と同様の趣旨で、国内で販売／展開されているシステムの勉強会を開催します。今年度は新たに一社参加いただき、総数 7 システムのご講演を予定しております。

化合物の安全性評価という同一の目的を有していても、基本原理が異なったり、たとえ同じ基本原理を採用していても、周辺機能が異なったりと個々のシステムは様々な特徴を有しています。これらのシステムの特徴を理解することは、効率の良い安全性評価を行う上で極めて重要な事です。国内で販売／展開されている多数の「安全性（毒性）評価」支援システムが一堂に会した講演会は国内では存在しません。この勉強会より、インシリコによる安全性評価支援システムの個別の内容や特徴を理解していただきたく存じます。

また、講演会場では講演発表システムのパンフレット等も用意されます。講演とパンフレットでシステムを理解し、次の日から開催される C B I 学会大会展示会場で、個々のシステムに関する疑問や質問点等を出展ブースでのデモ等により、さらに深い討論も可能です。得難いチャンスを是非ご活用いただきたく存じます。

ご協力いただきました 7 システムの販売／開発各社様にこの場を借りまして御礼申し上げます。

プログラム：

○12:45-13:00

挨拶および安全性評価システムの概要とケモメトリックス研究支援システム：湯田浩太郎

安全性評価支援システム

○13:00-13:30

●**ADMEWORKS**：毒性予測・予測モデル式作成ソフトウェア「ADMEWORKS」

株式会社 富士通九州システムズ、

○13:30-14:00

●**Chemotargets CLARITY**：ターゲット、代謝物、副作用予測ソフトウェア

株式会社 ワールドフュージョン、

○14:00-14:20

●**OFF-X**：医薬品安全性アラートサービス

株式会社 モルシス、

○14:20-14:40

●**ChemTunes & ToxGPS**：安全性評価とリスク評価のためのプラットフォーム

株式会社 モルシス、

○14:40-15:10

●**Percepta**：より効率的な意思決定のためのインシリコ物性・ADME・毒性 予測ポータル

富士通株式会社、

<15:10-15:30 休憩>

ケモメトリックス研究支援システム

○15:30-16:00

◆**TIBCO Spotfire**：簡易なデータ解析により、迅速に新たな知見やトレンドを探索：

株式会社 パーキンエルマー・ジャパン、

○16:00-16:30

◆**ModelBuilder**：ケモメトリックス研究支援から汎用なデータ解析まで実施

株式会社 富士通九州システムズ、

★16:30-17:00 討論、自由質問および名刺交換会

参加費：

CBI 学会 2017 年大会への参加登録が必要です。

連絡先： CBI 学会 2017 年大会事務局